

第10回研究会 報告

○日時：2013年1月16日（水）

○参加者：弓野先生，塩田先生，山口さん，酒井（報告者）

○報告：

第10回研究会では、イギリスの指導書を参考にしつつ、小学校の国語科における創造性の内容を検討した。また、論文を作成する際の項目についても検討を行った。以下に検討した際のメモを挙げる。次回からは各教科について、創造性を伸ばすためのポイントを検討していく。

○第10回創造性研究会メモ

- ・創造性を授業に取り入れる場合は、その授業内にどのように伸ばしていくかということあらかじめが重要である。
- ・実践のみではなく、教師がその活動を通してどのように考えたかが大切。
- ・論文で記載する項目
 - その時間内でどのように創造性を育てていくのか
 - 授業の目的
- ・国語科において、クリエイティブライティングを行うに有効的なものは物語や詩が考えられる。
- ・創造性を問うものとして、物語、第三者の視点で考える（観点変更）
- ・イギリスのドラマ教育を参考にすると、状況に入り込ませて、考えさせるモチベーションを持たせることが重要であると考えられる。
- ・「必然性」をもたせた上での導入を行うことが重要。